

番 号	14 請願第 16 号 (即 決)
受理年月日	平成 1 4 年 1 1 月 2 9 日
件 名	「公団家賃の値上げ見合わせを求める」意見書提出について
提 出 者	三鷹駅前市街地住宅自治会長 阪口 清子 新川島屋敷通り団地自治会長 小林 昭弘 三鷹台団地自治会長 鈴木 富雄 牟礼団地自治会長 伊東 典光
紹介議員	高井 章博、岩田 康男、杉本 英騎
要 旨	
<p>〔請願の主旨〕</p> <p>今、私たち公団住宅居住者は、来年 4 月からの家賃値上げと都市公団廃止後の公団住宅に関する法案審議で、住居の先行きに大変心配しております。</p> <p>平成 12 年度の家賃改定に際して、三鷹市内で、唯一の改定対象団地である「三鷹駅前市街地住宅」では、値上げ幅が大きかった多摩地域でも突出して、6,000 円から 10,500 円の値上げを受けました。しかも補修などの恩恵にほとんど浴しておりません。</p> <p>一方、居住者の現状は、今年 9 月に全国公団住宅自治会協議会が行った「生活アンケート」によりますと、同団地の場合、女性世帯主が全体の 35% を占め、65 歳以上の高齢世帯主が 45% を占めています。また、世帯収入は、第一分位該当者（年間 469 万円未満 公営住宅入居可能）が 62% に達しています。</p> <p>従前からの居住者の 7 ～ 8 割が「公団賃貸住宅に住み続けたい」と願っていますが、そのほとんどが、「高家賃や家賃値上げが心配だ」と考えています。</p> <p>たびたび、お手数をお掛けして、意見書の提出をいただいたお陰もありまして、公団全体では、高齢者向け優良賃貸住宅（高優賃住宅）の制度もできましたが、この適用条件を、同団地は備えておりません。</p> <p>この窮状を、国土交通省、多摩選出の国会議員などに訴え続けておりますが、この改善にむけて、再度、意見書を各方面に提出していただくよう、請願致します。</p>	

〔 請願事項 〕

- 1 都市公団は、平成 15 年 3 月に予定している、継続家賃の値上げを行わないこと。
高家賃を引き下げるとともに、空き家の解消を図ること。
- 2 都市公団は、公団法および国会決議の趣旨に沿い、低所得高齢世帯等への家賃減
免と、子育て世帯への居住支援措置をとること。